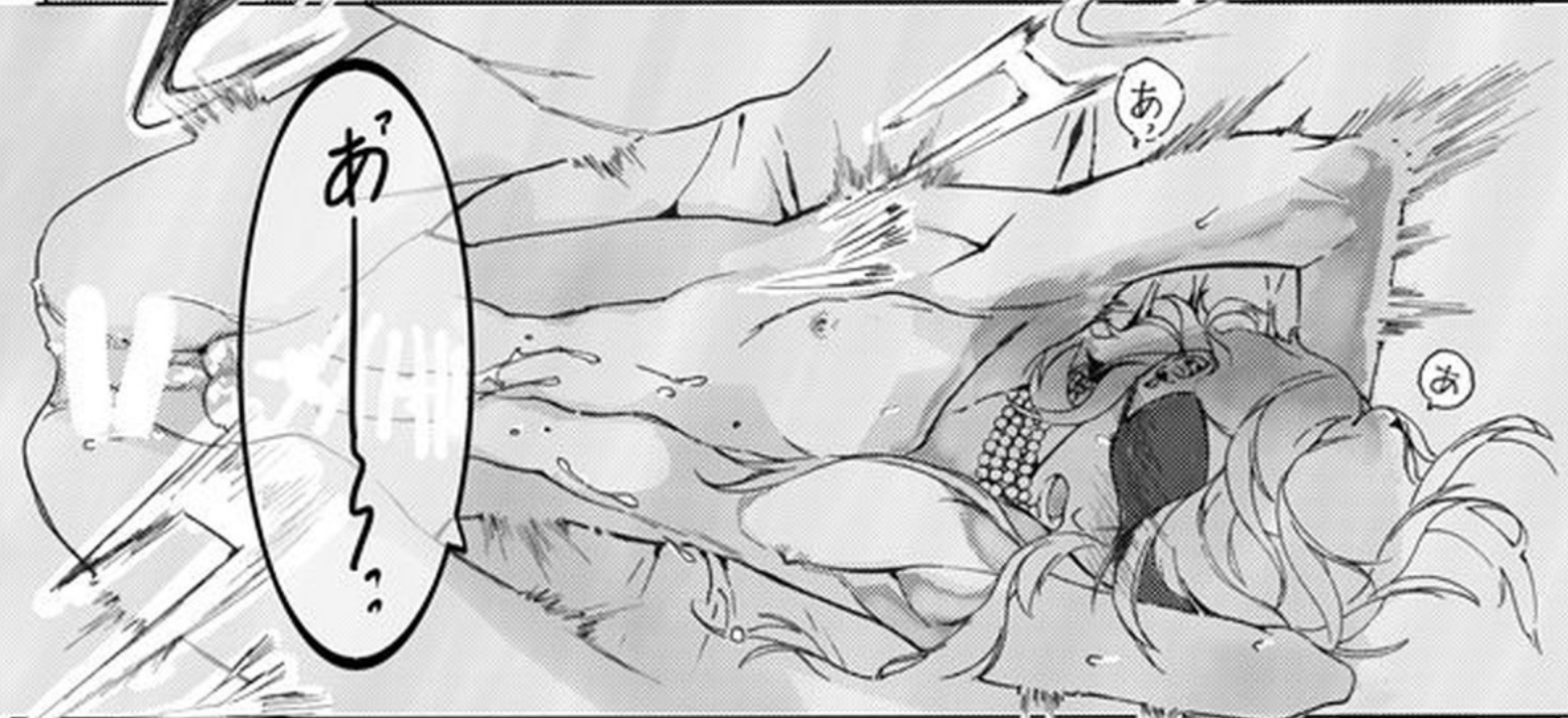
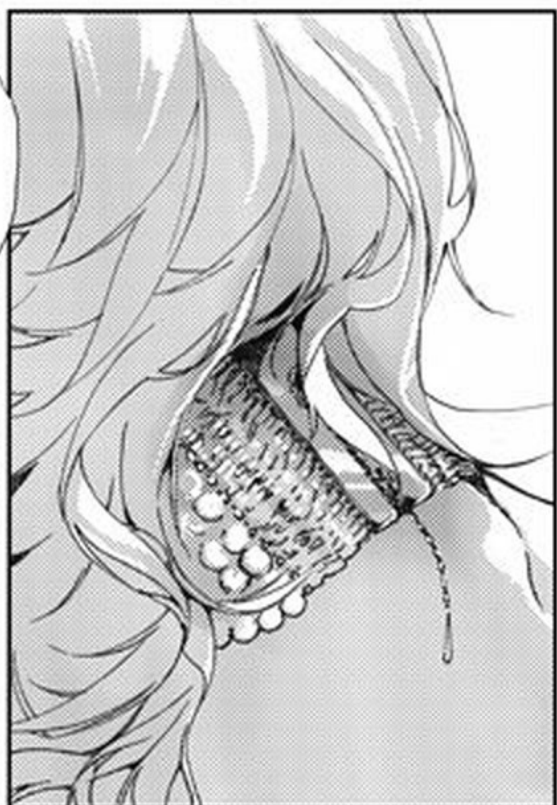




おはよう
おはよう





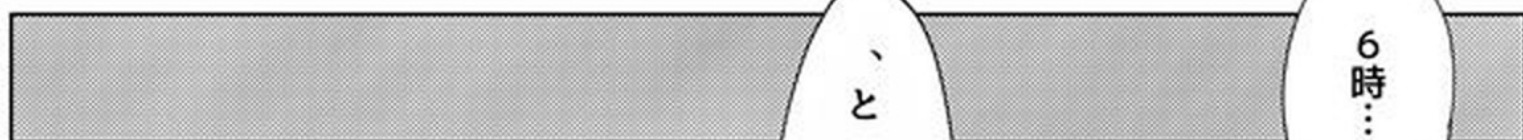




三月に一度
行くほかは

石を積むだけ

賽の河原で



6時…

と
その前に

ひと眠りしたら…
お金の計算しよう



そらぎ、
おいでいくぞ



ああ、



見せて
はせへ

これは夢だ



そらぎ



おまえ
はな

けら

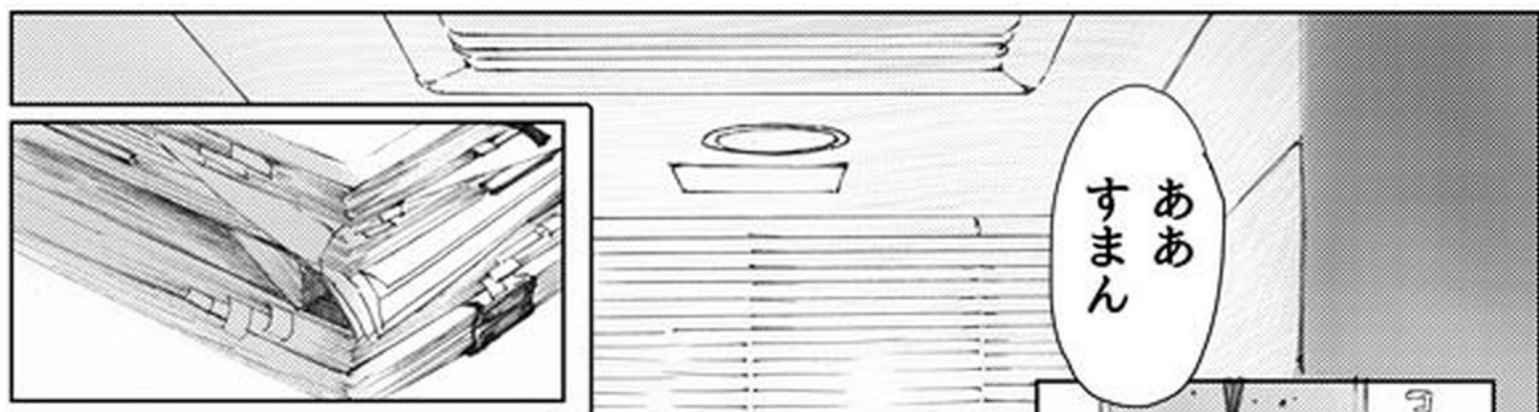
けら


うら、うら、
かかた

だってお前が
隣にいる

……せ

……せ……へ






そうですよ



もう
自分で言っておいて
忘れたんですか？



最近寝不足
でなあ

ダメですよ
ちゃんと寝て


先生ー

間そろそろ
よー

ああ
今行きます



じゃあ またな 宗三



ええ、また



僕らは幼馴染だ



かたやαの
外科医

このオレ結ぶって
焼き肉食へまの

あ



かたやΩの
愛人稼業

い
愛人稼業に
どきどき

S.M. 180511

僕らは幼馴染で
そして親友だ

世間一般から見ても
おかしい話かも
しれないが

『会わないこと』

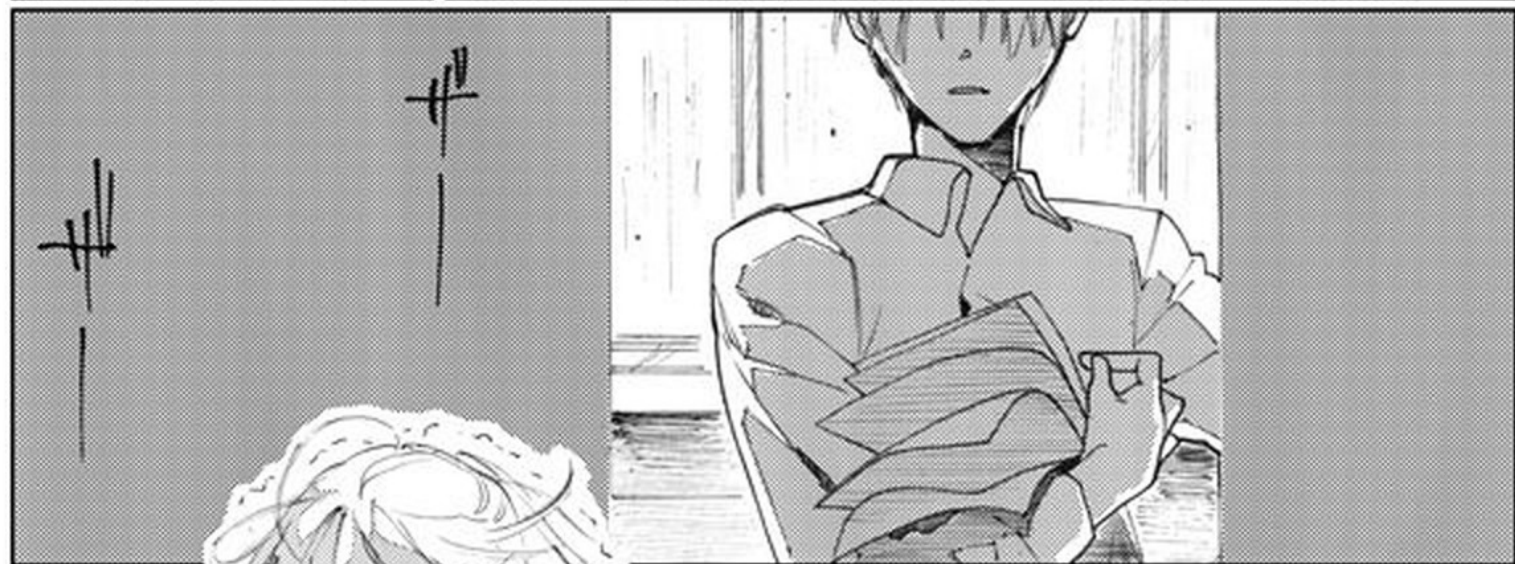
僕らの友情が
壊れない秘訣

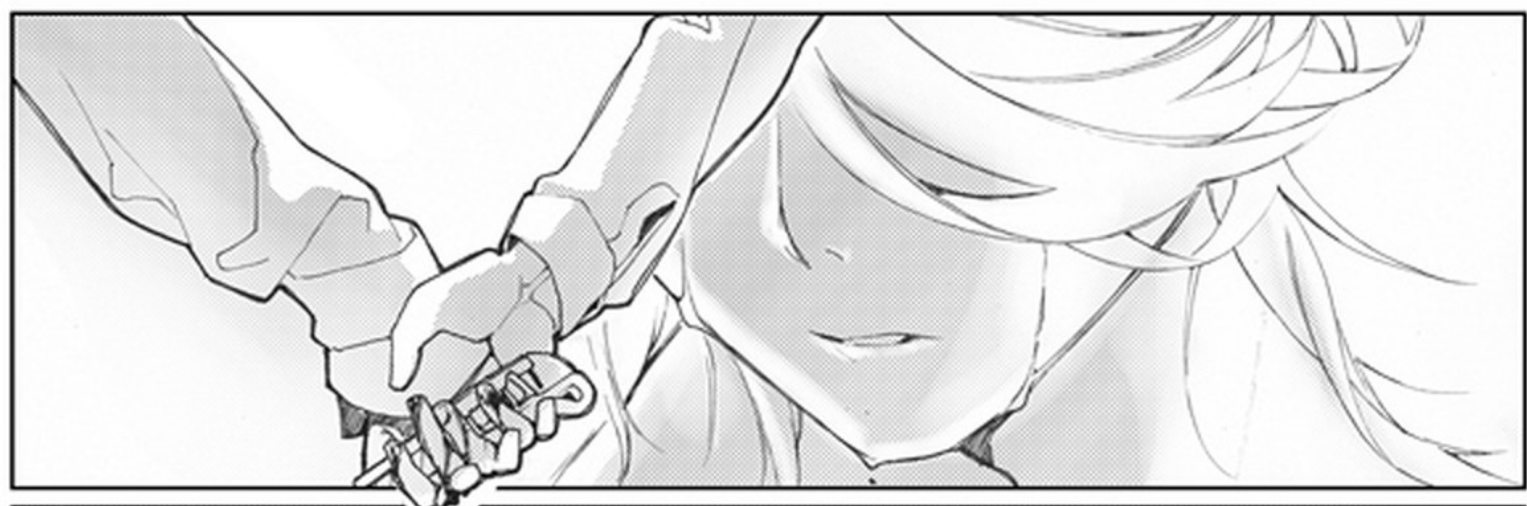


ガキ

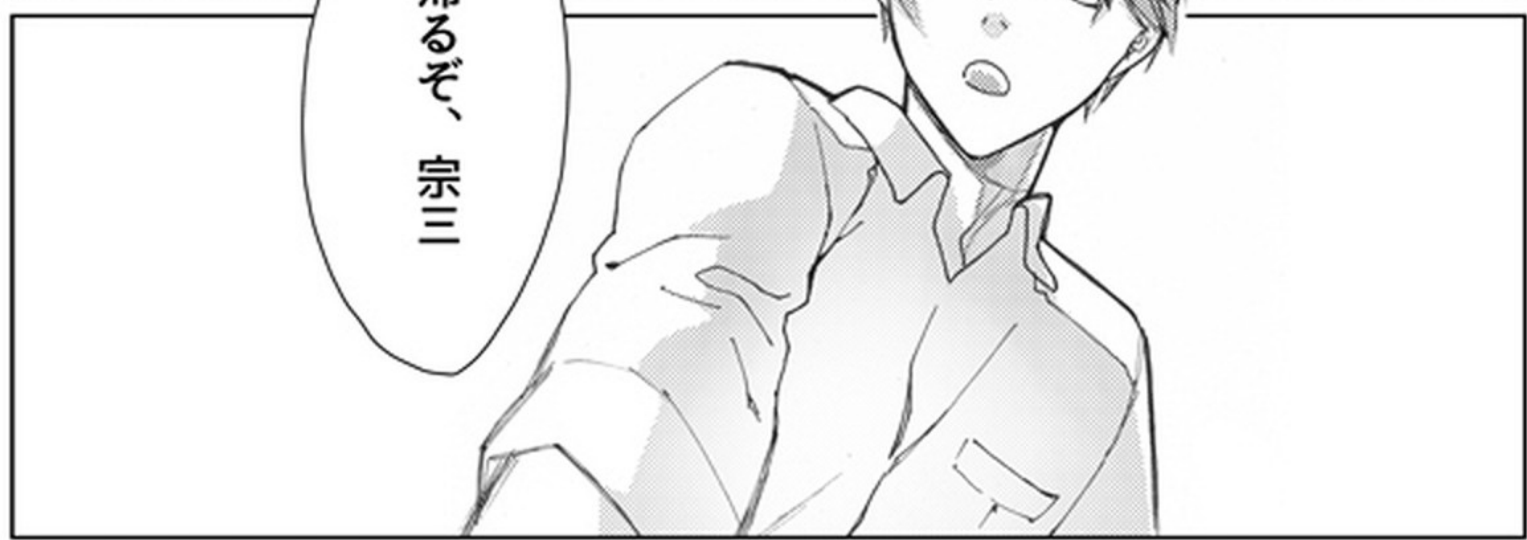








帰るぞ、宗三



— あの日

長谷部が手をひいて
くれてよかった

傘もささずに
2人でズブ濡れに
なって家に帰った

それから僕は
学校に行っていない

ちよつとして あの
教師が捕まったことと

長谷部が遠くに
引っ越すことを
知った



ある時 街で
撮られた写真が
雑誌に載って

僕は色んなメディアに
出るようになった

そのうち 僕を
愛人にしたいって
人が何人か現れて

その何人目かが
今の主

増えたり
減ったり

僕のスマホの
アドレス帳は
上書きされて
いくなか

長谷部だけが
毎日

何年も 何年も
メッセージをくれた

おはよう
押してさらに表示

ホームボタンを押して開く



長谷部先生！

あ…

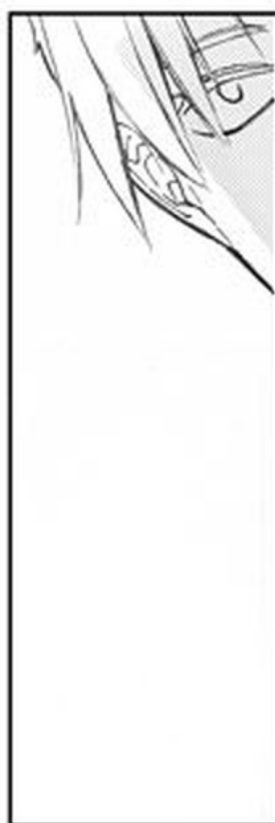
あ、あの、すみません
申し送り…終わりました
…よ？

あ、ああ
すまんボーっとして

そうだな、帰って
もうひと眠り…

おーい おはよう
皆の衆！知らせだ！

お疲れ様です
夜勤明けって眠いです
よね





それでもやるって
奴がいるらしい

驚きだよな

宗三

今は副作用少ない
抑制剤もあるのに



あつ...と、俺、用事があった
んだった 失礼します

おまえ

←







ホテルの食事が続くと
こーゆーもののおいしく
感じますね…

電話？長谷部から？

おや

コン

ふあい
なんでふか

僕今 食事ちゅ…

宗三、聞きたいことがある

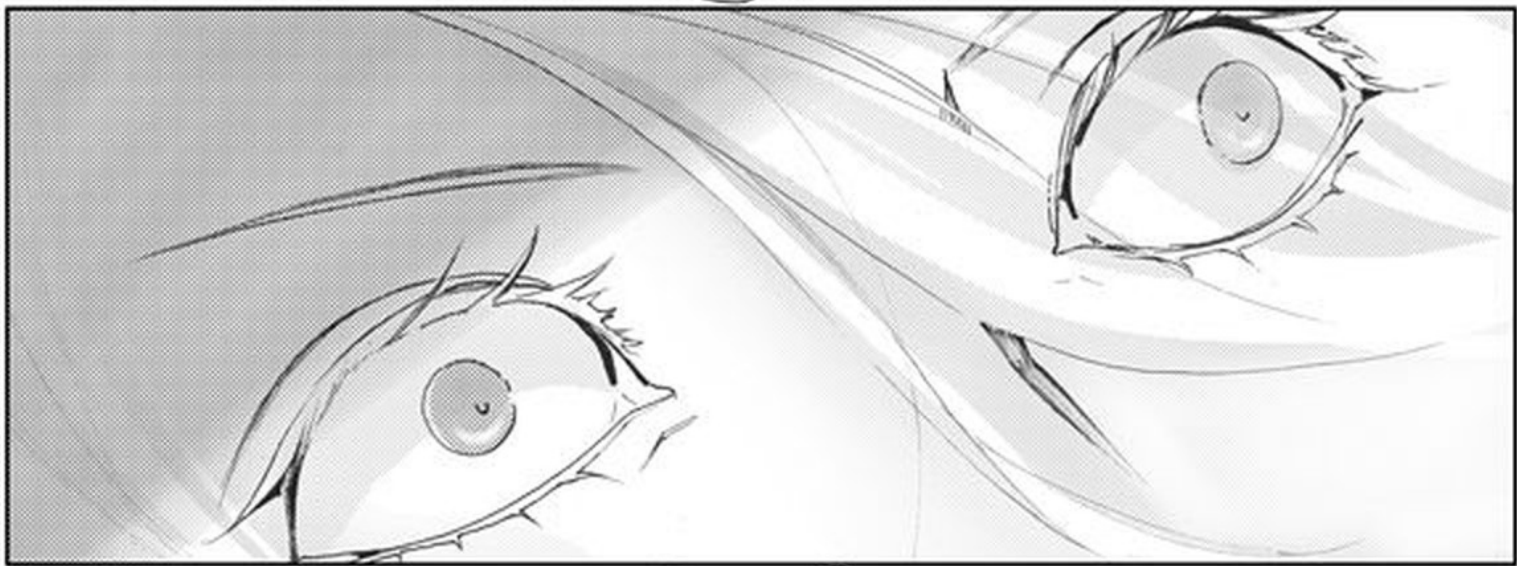
……ねえ、君



君、宗三くん
だろうか？



ねえ、



せ、先生を

誘惑、する、
なんて、

子供のくせに



い、いけない、

子だ







この声!!

待ってよ宗三くん



ねえ



なんで



は、

は、

なんで今更



今、どこだ!!
周りに何がある!?

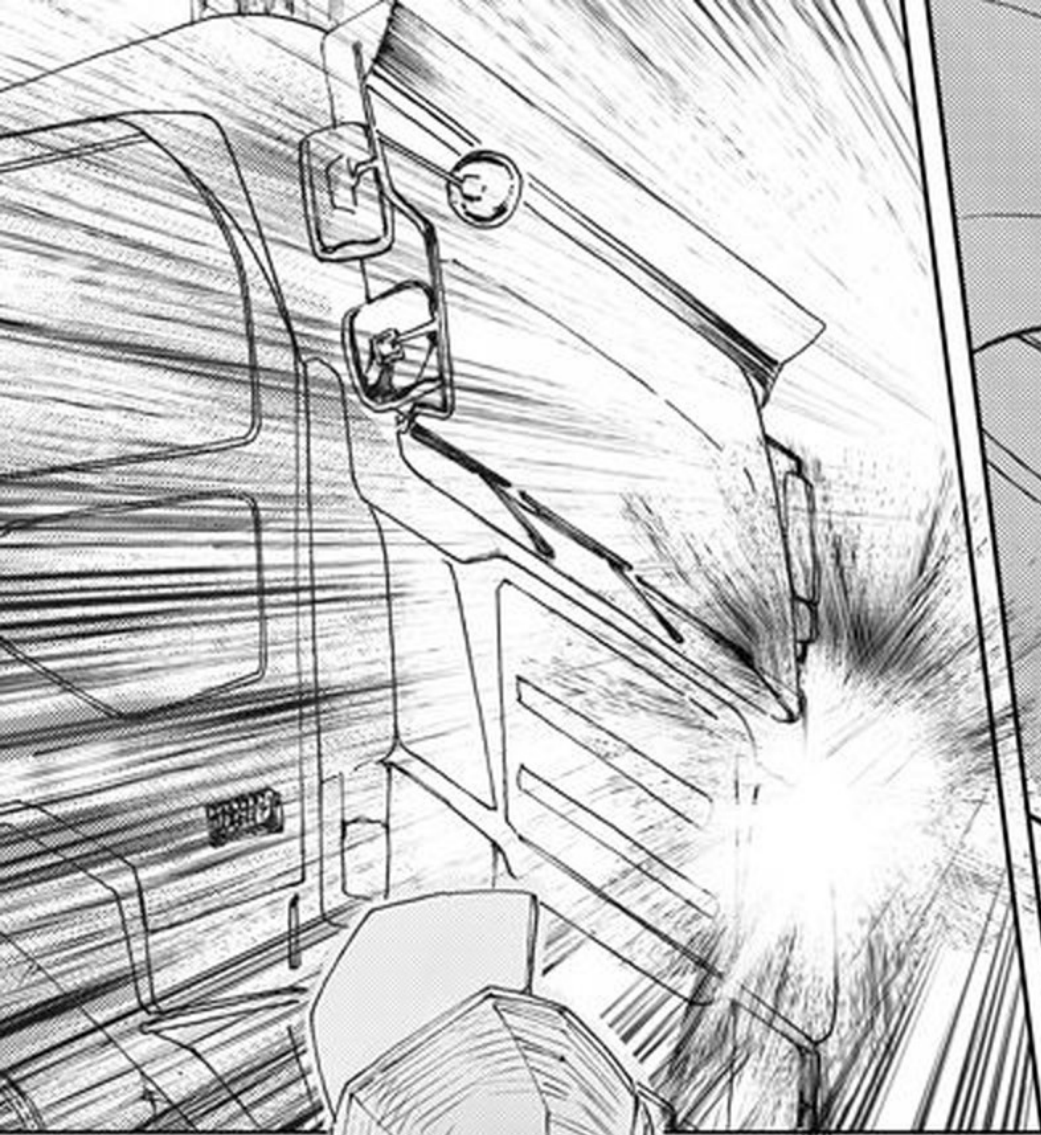
俺もそこへ行…

来ないで!!



何のために
今まで——
っ





長谷部、いつか
会えたら

話したいことが
たくさんあるんだ

